

令和 8 年 4 月 小規模特認校制度導入に向けて

自律的な学習者の育成をめざす 学校づくり

桜学園つくば市立栗原小学校

学校教育目標及び中長期目標

○令和 7 年度学校教育目標

夢に向かって挑戦し、主体的・自律的に学ぶ栗原っ子の育成
～児童が主体的に取り組む教育活動の工夫・改善を通して～

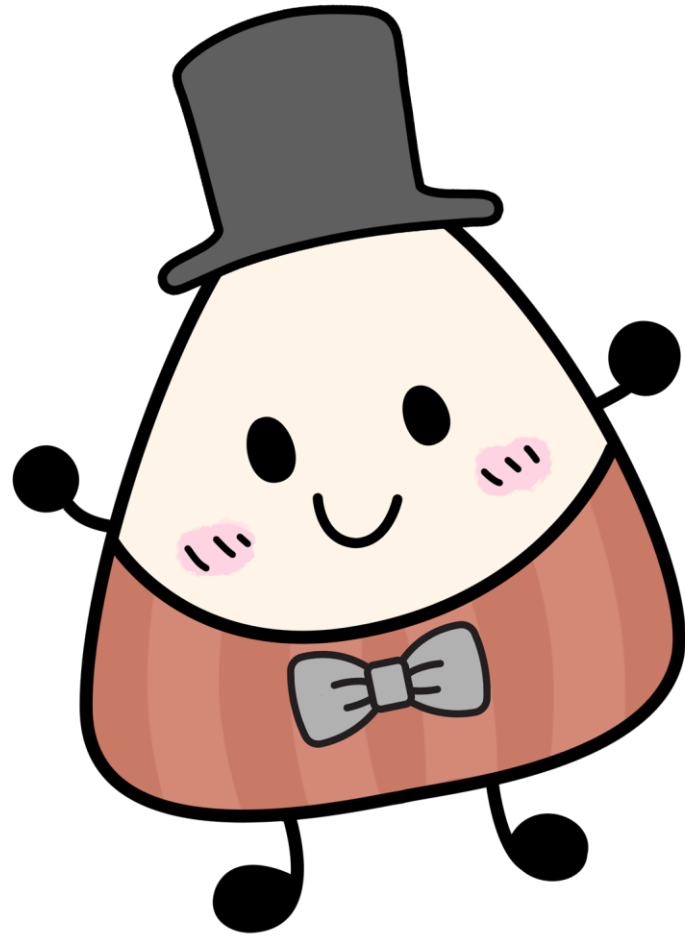
○中期目標

- 体験活動、学習活動の工夫等により、児童の主体性を引き出す

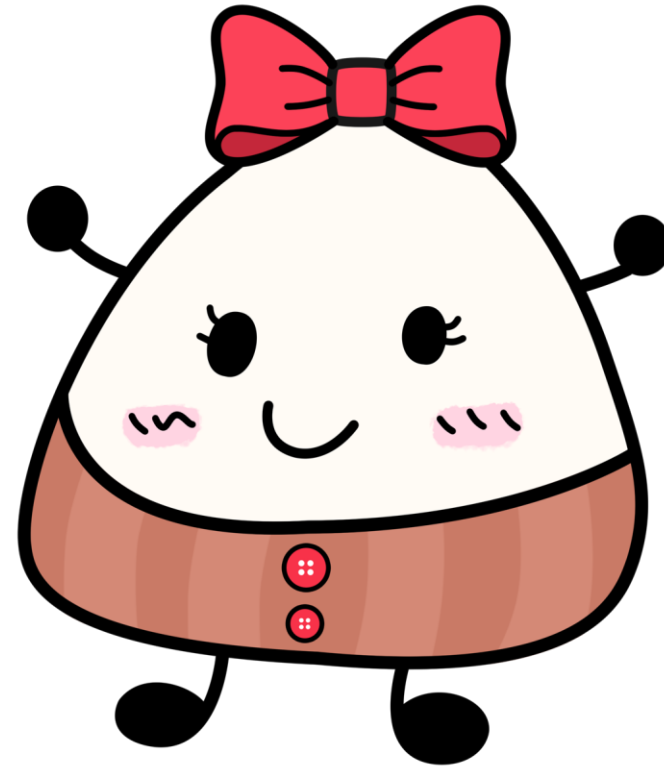
○長期目標

- 多様な他者との協働、探究的な学びを通して、課題解決に取り組む児童を育てる

栗原小学校は令和 7 年度に150周年を迎えます



栗原小学校創立 150 周年記念キャラクター
「くり太」



「くり子」

令和8年4月 新たなスタート!!

- 令和8年度本校より分離、栄小学校上境地区・九重小学校流星台地区の児童が共に通学する新設校開校予定
- 児童数減少⇒小規模特認校制度導入
- イエナプランの理念を参照し、異年齢による教育活動を展開
- 多様な他者とかかわる体験活動を重視、自己調整学習や探究的な学びを通して自律的な学習者の育成をめざす

令和8年4月 新たなスタート!!

○新・栗原小学校について

- 各学年児童数の上限は17名
- 150年の歴史をもつ地域に根差した学校→豊かな自然、地域資源
- 保護者の皆様→教育に対する高い関心、異なる居住地域・多様な職業等
- 地域のよさを生かしつつ、みんなの考えや意見を尊重したい

つくば市の教育と小規模特認校について

- つくば市教育大綱 最上位の目標「一人ひとりが幸せな人生を送ること」
- 市内各学校では、「教えから学びへ」の考え方のもと、こどもたちの探究する力の育成を目指す
- 自己選択や自己決定の機会を増やし、こどもたちが主体的に考えて行動する力を養う
- 学力だけでなく、やり抜く力や協調性、創造性などの非認知能力を育むことも重視
- 小規模特認校では、つくば市教育大綱の方針と共通する部分が多くみられるイエナプラン教育の理念や取組を参考に、教育活動を展開

<つくば市教育大綱とイエナプラン教育の主な共通点>

- こどもが自ら問いを立て、探究する学びを大切にする点
- 異学年での学びを推進して、社会性や協調性を育む点
- 社会とのつながりや体験を重視する点 など

つくば市教育局学務課学務係

9月12日版

「小規模特認校に関するよくある質問」より

2 小規模特認校の教育活動・学校生活等について

質問No.1

「小規模特認校は、イエナプラン認定校なのか」

回答：**イエナプラン認定校ではありません。**つくば市教育大綱の実現に向けて、イエナプランの考え方や教育方法を参考に教育活動を行う公立学校です。

「小規模特認校に関するよくある質問」より

2 小規模特認校の教育活動・学校生活等について

質問No. 2

「イエナプランの理念を生かした教育とはどのようなものですか」

回答：

・児童が**自律的に学べるように支援**します。
学習内容によっては、学習形態や学び方等を自分で選んで学ぶ機会を設けます。また、児童が学習を計画したり、振り返ったりすることで、児童に自己調整する力を育みます。

「小規模特認校に関するよくある質問」より

質問No. 2 に係る回答続き：

- ・異学年での交流を通して、他者理解や思いやりの心を育みます。
- ・外部講師など多様な他者と関わり、体験や経験を通して学ぶ場を重視します。
- ・サークル対話を取り入れ、互いを尊重する態度を身に付けるとともに、信頼関係や所属感を育みます。
- ・児童が協力して全校遊びやイベントを企画する経験を通して、主体性や協調性を育みます。

つくば市教育局学務課学務係

9月12日版

「小規模特認校に関するよくある質問」より

5 その他

質問No. 2

「イエナプランの専門の教員はいますか」

回答：小規模特認校の2校は、**イエナプラン認定校ではないため、専門の教員はおりません**が、イエナプラン教育の理念や取組を参考にし、教育活動を行います。【後略】

小規模特認校としての特色

- 少人数だからこそできる5つの特色ある教育活動

(1) 自分のペースで確実に学ぶ〔自己調整学習〕

(2) 友人・先生と深くかかわる

学校生活の多くの部分で異年齢による活動

外部人材・保護者や地域の方と一緒に

(3) 問い（やりたいこと）にとことん向き合う

(4) わくわくが盛りだくさん

豊富な実体験、英語やICTに触れる機会

(5) 活躍と挑戦の機会がある

すべての児童に役割がある学校生活

身近な社会とつながる活動

小規模特認校としての特色

○カリキュラムについて

- 学習内容は通常の学校と同様だが、以下の点に特色
- 異年齢で活動、他者と対話する機会を多く設定
- 少人数のよさを生かし、一人ひとりの進度や興味・関心に合わせて、自律的に学習に取り組める
- 外部人材(地域・専門家等)を積極的に活用し、学ぶ楽しさを味わえるようにする
- 午後は、体験や探究を中心に、学びたいことを思い切り学べる時間を設定

小規模特認校としての特色

○日課のイメージ



小規模特認校としての特色

異年齢交流・他者との対話 * R7 年度の実践 *

- 縦割り班を中心とした行事、遊び、校庭クリーンデー、清掃（毎週木曜）
- サークル対話



小規模特認校としての特色

外部人材活用・体験・探究学習

* R7年度の取組 *

4 学年 ZOZO出前授業

- 「楽しく働くこと」について体験的に学ぶ授業
- 1 時間目：環境 2 時間目：キャリア

5 学年 つくばSTEAMコンパス

- 子どもたちの問いや見つけた課題をスタートに、研究者と一緒に課題解決に向けたアプローチの方法を考え、探究する力を身に付ける R7.11.10～

6 学年 アントレプレナーシップ教育

- 起業をテーマにした探究プログラム（筑波大学） R7.11.27～
- R8.2月の授業参観の日に、成果発表の予定

ご理解とご協力をお願いします

つくば市栗原という地域に根差した
本校だからこそできる学びを、子ども
たち・保護者の皆様・教職員みんな
でつくっていきたいと考えます

